SNSマルチシミュレーター　簡単操作ガイド

本シミュレーターでは、テキストチャットアプリ、短文投稿アプリ、写真投稿アプリ、そして動画投稿アプリの４種類のSNSを擬似体験できます。

アプリ名はそれぞれ

・TINE：テキストチャットアプリ

・Kwitter：短文投稿アプリ

・Estagra：写真投稿アプリ

・Lik Lok：動画投稿アプリ

と称し、現在流行しているSNSを擬似的に体験できます。

主な機能として、

・プロフィールの編集

・コンテンツの投稿

・コミュニケーショントラブルの疑似体験

以上３つの機能を体験できます。

**■プロフィールの編集**

名前、紹介文、アイコンなどが変更できます。

アイコンやプロフィール背景には、個人情報が特定できるものがあります。

アイコンやプロフィール背景写真はあらかじめ用意された写真が設定できます。外部から画像を取り込んで設定することもできます。

・自身のアイコンにオリジナルの画像を設定したい場合

**カスタマイズしたいアプリ名のフォルダ　＞　data　＞　profile**

上記の順にフォルダを開き、ご自身で準備した画像をフォルダ内のいずれかのファイルと同じ名前、同じ拡張子で置き換えてください。

・オリジナルのプロフィール背景写真を設定したい場合

**カスタマイズしたいアプリ名のフォルダ　＞　data　＞　bgimg**

上記アイコン同様にフォルダ内の同じファイル名・拡張子で置き換えてください。

**■コンテンツの投稿**

TINEでは、あらかじめ用意されたトークルームに入ると投稿ができます。テキスト投稿、スタンプ、写真の投稿ができます。

Kwitterでは、あらかじめ用意されたツイートへの返信ツイートのほか、新規ツイートもできます。写真を添付することも可能です。

同様にEstagramとLik Lokでも画像とテキストの新規投稿ができます。

投稿写真についてもあらかじめご用意された写真の他、ご自身の写真も組み込むことができます。

・TINE、Kwitter、Estagraｍの投稿写真をカスタマイズしたい場合

**カスタマイズしたいアプリ名のフォルダ　＞　data　＞　img**

上記の順に開き、ご自身で準備した画像をフォルダ内のいずれかのファイルと同じ名前、同じ拡張子で置き換えてください。

**■コミュニケーショントラブルの疑似体験**

あらかじめ用意された会話が自動的に展開され、コミュニケーショントラブルを疑似体験できます。ところどころでユーザー自身が発言するタイミングが発生するので、会話の流れにそって投稿してみましょう。

※会話の途中で、画面を離れてしまうと、会話ははじめに戻ってしまいます。ご注意ください。

あらかじめ用意された会話の内容は、変更することができます。

ただし発言数の増減やキャラの変更等を行うと、プログラムが正常に動かない場合がありますので、ご注意ください。

・会話の内容のカスタマイズの仕方

1. カスタマイズしたいアプリ名のフォルダ　＞　storyX.json（Xは任意の数字）を選択
2. 上記ファイルをテキストエディタ（秀丸など）で開く
3. 「"text": "●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●",」となっているプログラムを確認（●赤丸の部分が会話の内容です）
4. ●赤丸部分を変更
5. ファイルを上書き保存

**■会話ログのダウンロード**

各アプリのトップページで、スマホ本体のすぐ下に「会話ログダウンロード」ボタンが表示されています。クリックすると、アプリごとのプロフィール変更ログ、会話ログがtxtファイルとしてダウンロードできます。